

NIMD フォーラム 2012 を開催します

今回の NIMD フォーラムは、スロベニア共和国の国立ジョゼフ・シュテファン研究所の研究員を招き、水銀のヒトの健康や環境への影響に関する研究成果を紹介します。

スロベニア共和国のイドリヤ市はかつて世界第2位の生産量を誇る水銀採掘で繁栄しました。すでに鉱山は閉鎖されていますが、現在でも市や周辺地域の水銀による環境汚染問題を抱えています。そこで、ジョゼフ・シュテファン研究所は、水銀による環境汚染に関する研究を活発に進めています。当センターでは水銀に関する様々な研究成果を紹介することにより今後の研究をより推進していくことを目指しております。

本フォーラムは、水俣市との共催で行われ、1月27日（金）のスタディー・ビジットは水俣市によって実施されます。

と き 1月26日（木） 9：00～17：00

会 場 水俣病情報センター講堂（水俣市立水俣病資料館隣接）

住 所 熊本県水俣市明神町55-10

発表言語 英語（日本語の同時通訳あり）

参加費 無料

申し込み方法

①氏名、②職種、③年代、④所属機関 を明記の上、Eメール又はFAXにてお申し込みください。

申し込み・問い合わせ先

国立水俣病総合研究センターNIMD フォーラム 2012 事務局

担当者 坂本 峰至

Eメール mail@nimd.go.jp

FAX 0966-61-1145

電話 0966-63-3111

プログラム

<p>1. Darko Viler イドリヤ地方博物館、スロベニア共和国 Introduction of Idrija City and municipal Museum イドリヤ市とイドリヤ地方博物館の紹介</p>
<p>2. Tetsuhiro Yoshimoto 水俣市役所 Introduction of Minamata and municipal Museum 水俣市と水俣市立水俣病資料館の紹介</p>
<p>3. Tatjana Dizdarevič イドリヤ水銀鉱山会社、スロベニア共和国 “Closure of the Mercury Mine and the Quality of Life in Idrija” イドリヤの水銀鉱山の閉鎖と生活の質</p>
<p>4. Milena Horvat ジョゼフ・シュテファン研究所、スロベニア共和国 “Mercury fate and transport in the wider Idrija Region and the Gulf of Trieste; from environmental measurements to modeling tools.” 広域イドリヤ地方とトリエステ湾での水銀の命運と輸送; 環境測定からモデル化手法まで</p>
<p>5. Akito Matsuyama 国立水俣病総合研究センター “Mercury concentration in fish muscle (Pargus major) based on current seawater characteristics of Minamata Bay.” 水俣湾の現在の海水特徴に基づく魚 (マダイ) 筋肉中の水銀濃度</p>
<p>6. Nives Ogrnc ジョゼフ・シュテファン研究所、スロベニア共和国 “Mercury in contaminated coastal sediments: novel approaches in source appointment.” 汚染された沿岸沈殿物中の水銀: 起源選定の新しいアプローチ</p>
<p>7. Keisuke Mori 国立水俣病総合研究センター “Mercury pollution by many small-scale gold ore smelters in Talawaan River, North Sulawesi, Indonesia.” インドネシア、北スラウェシ、タラワン川の多くの小規模の金鉱石精練所による水銀汚染</p>
<p>8. Janja Snoj Tratnik ジョゼフ・シュテファン研究所、スロベニア共和国 “Biomarkers of low level mercury exposure: exposure, impact and genetic susceptibility.” 低レベル水銀曝露のバイオマーカー: 曝露、影響と遺伝学的感受性</p>
<p>9. Choong Hee Park 国立環境研究所、韓国 "National Environmental Health Survey -Mercury Concentration in Blood and Urine" 韓国環境保健調査 -血液と尿中水銀濃度</p>

10. Mineshi Sakamoto 国立水俣病総合研究センター

“Placental transfer of heavy metals and the changes in their body burden in infants during early-breastfeeding period.”

重金属の経胎盤移動と授乳早期の児における体内蓄積変動

11. Hong Young Seoub ドング・ア・大学、韓国

“The blood mercury concentration in a coastal area and four cases of neuropsychological abnormal findings in children with high blood methyl-mercury concentration in Korea”

韓国における沿岸地域の血中水銀濃度と高い血中メチル水銀濃度を示した子供達4ケースの神経心理学的異常の検出

12. Pablo Higuera カスティラ・ラ・マンチャ大学、スペイン

“Health effects of mercury in Almadén, the world's largest mercury mining district.”

世界最大規模水銀鉱山地帯アルマデンにおける水銀の健康影響